

札幌白陵高等学校PTA

平成8年4月に北海道札幌白陵高等学校が開校し、創立25年目を迎えました。その間、平成18年には創立10周年記念式典が盛大に行われ、また10年の新たな歴史が刻まれたこととなります。創立10周年を迎えた平成18年は、景気低迷の改善が見られるものの、本校は極めて厳しい状況にありました。

「中退者は100人を超え、就職も進学もしないで卒業した生徒が卒業者の4割もいることは、全国の状況よりも極めて厳しい状態にあることを強く認識しております。～平成19年度 PTA通信より」

この厳しい状況の中、PTAと教職員が連携して校内巡視指導やバス添乗指導など、生徒の学校生活の改善に向けた取り組みが積極的に行われ、学校の状況は大きく改善されました。また平成22年度から4間口単位制高校としてスタートし、その成果がいたるところで実を結びつつあります。令和3年度からは、北海道札幌養護学校高等部（白桜高等学園）が本校に併設され、政令都市としては、全国でも先駆的役割を果たす新たなスタートへ向けて準備が進められています。

令和2年度 PTA事業計画

月	事業名
4	コロナウイルス感染防止にかかる対応として、総会他PTA関連行事は全て中止。6月まで
7	・第1回PTA役員会 常任委員会（各種大会中止に伴う予算案の見直し等 2日） （学校祭中止に伴いPTAバザーも中止）
8	・第2回PTA役員会（研修旅行・体育大会協力について検討 27日）
10	・体育大会PTA昼食提供（全校生徒への弁当配布 9日） ・PTA研修旅行 17日（土）ニセコ方面16名参加 ・「PTAだより55号」発行
3	・卒業式（1日）PTA記念品贈呈 ・「PTAだより56号」発行 ・第3回PTA役員会

10月9日(金)体育大会PTA昼食提供



10月17日(土)PTA研修旅行（ニセコ・高橋牧場ミルク工房他）

